

[研究テーマ]

新しいゆるキャラ考案のためのマーケティング

ゆるキャラ研究グループ

システム科学技術学部
経営システム工学科

| | |
|------|-----------------------|
| 2年 | 佐藤 千夏 (秋田県/仁賀保高校出身) |
| 2年 | 伊藤 海玖 (宮城県/泉高校出身) |
| 2年 | 鈴木 奏恵 (秋田県/秋田北高校出身) |
| 2年 | 中川亜希美 (兵庫県/川西緑台高校出身) |
| 指導教員 | 嶋崎 真仁 准教授 (経営システム工学科) |

Q1 この研究を選んだ理由と目的を教えてください。

近年、秋田県の観光入込客数は減少傾向にあるということを知りました。私たちは、秋田の抱える課題を解決するの一つの手段として、ゆるキャラが有効であると考えました。また、近年ではゆるキャラの活躍により、観光客数・県の経済効果が飛躍的に伸びている地域も見受けられます。そのため、本研究では地域の活性化につながるゆるキャラの分析を試みることにしました。

Q2 学生自主研究の良いところを教えてください。

私たちの研究グループは、全員が一年生であり知識が浅い状態でした。しかし、熱心な准教授のご指導や、グループのメンバーと話し合い、計画的に作業を分担したことで研究をすすめることができました。また、アンケート調査を行った際には、学外の方々と交流もあり、今後卒業研究等を行う際にも役立つ知識を得ることができました。このような様々な人との関わりを持つことができることも学生自主研究の魅力であると考えます。

Q3 学生自主研究で得たものはなんですか。

秋田の若者がゆるキャラに求める要素、その要素を最も含んでいるゆるキャラについてアンケート調査を行いました。その際にアンケートを作成するノウハウを学ぶことができました。アンケート調査から得られた結果より、例として秋田県立大学のキャラクターを作成しました。また、研究を行う上でアンケートから得られた情報のまとめ方について学ぶことができました。

Q4 その他に研究をして良かったことはありますか。

私たちの研究グループでは、本研究で得られた成果をまとめ、由利本荘市と仙台の学会で発表する機会をいただきました。様々な方と意見を交換する場において、私たちの研究グループは新たな課題を見つけることができ、視野を広げる良い機会となりました。更に、プレゼンテーションを作成するにあたり、他者に自分たちの考え・成果を伝える手段を学ぶことができました。



SUPPORT
指導教員がきめ細かく研究をサポート!



Masahito Shimazaki

経営システム工学科

[准教授] 嶋崎 真仁

PROFILE

学 位 / 博士 [工学]

専門分野 / 経営情報システム、ヒューマンエラー、技術経営 (MOT)、品質管理、信頼性、地域活性化

出身大学 / 電気通信大学大学院電気通信学研究科
座右の銘 / 「やってみなはれ」

(西堀梁三部(初代南極越冬隊長)の口癖だったそうです)

ススメ科学への道!

高校生へのメッセージ

自らの疑問や、あなたの考える新しいアイデアを、大学で実現させてみませんか。大学教員は皆さんの疑問やアイデアと一緒に考えてくれる心強い味方です。本学であれば大学1年生から、学生が指名する指導教員と、ささやかな研究費を得て自主研究ができます。学部4年間、大学院2年間、その研究を続けることもできます。社会に出たとき、こうした経験はきっと皆さんの自信につながることでしょ。機会があるのなら「やってみなはれ!」。

研究内容 地域課題に対する技術系大学活用のあり方

品質管理や経営情報システムといった分野を通じて、経営システム工学を地域に適用して地域活性化を目指す研究をしています。その一環として、学部の専門科目に「起業体験プログラム」や「経営改善実践プログラム」を実施する科目を設定し、学生の演習を媒介とした産学連携を模索しています。

最近行った研究に、秋田市における720mlの日本酒びんのリユースがあります。ビン種の選別装置を開発しました。流通経路を追いかけることによって問題の本質を探り、そこに適切な技術的解決策を導入することにより、技術的には大したことなくても、地域がよくなる取り組みは可能であると思っています。

また、個別の店や商店街、お祭りやイベントなどにおいて、顧客満足度調査を通じた事業者への改善提案を行っております。これは「卒業研究」や「経営改善実践プログラム」において学生が取

り組むものを指導する形で実施しています。地域の消費者と製造・販売業の間には認識に食い違いがしばしば見られます。そこで、学生が実施する調査を通じて地域で商売をされている方にも現在の消費動向に気づいてもらい、そのニーズに即したサービスを提供してもらう取り組みをしています。

マイベストアイテムは学生です。彼らはみずから課題を持ち込み、指導をもとにみずから調査研究計画を立てて、調査に取り組みました。そして分析結果を学会で発表しました。みずから立てた間に解を出すことは、実はなかなかできることではありません。研究を続けようという意志の強さがあるのはとても頼もしかったです。

これが
お気に入り

MY BEST ITEM



1 研究目的と背景

近年、秋田県の観光入込客数は減少傾向にある¹。秋田の観光客数を増加させる一つの手段として、本グループはゆるキャラが有効であると考えた。

ゆるキャラはその地方の特色を反映させたものであるため、一目見て他の地方の方にアピールすることが可能である。また、近年ではくまモンやふなっしーといったゆるキャラの活躍により、観光客数・県の経済効果が飛躍的に伸びている地域も見受けられる。

そのため、本研究では地域の活性化につながるゆるキャラの分析を試みる。

2 研究方法

神田[1]が提唱する新商品企画七つ道具 (NeoP7) を援用して調査分析を行う。本来のNeoP7の過程に沿う場合は商品のアイデア・仮説を創出しインタビュー調査を実施することでアイデアと評価項目を厳選する。これに対し本研究では、顧客満足度アンケートの設計とポジショニング分析の手法を学ぶことを優先したため、ゆるキャラと評価項目を抽出することでその過程を補う方法を採用する。

ゆるキャラは、ゆるキャラグランプリ、ゆるキャラを専門として扱う書籍(参考文献[2]～[3])から、人気が高く、またジャンルの異なる5種類を抽出した。対象としたキャラクターは、くまモン²、スギッチ³、バリィさん⁴、ふなっしー⁵、メロン熊⁶である。採取したアンケートをポジショニング分析ならびにスネークプロットを併用して分析する。

3 アンケート調査

対象とする5種類のゆるキャラをアンケート対象者に写真で見てもらい評価項目に沿って5段階で評価してもらった。評価項目は、以下の7項目である。

- (1)会ってみたいと思う
- (2)雰囲気好感が持てる
- (3)顔が好き(目の位置・口の大きさなど)
- (4)全体のフォルムが良い
- (5)色合いが良い
- (6)モチーフがわかりやすい
- (7)動きに好感が持てる

アンケートの対象者は仁賀保高等学校、湯沢翔北高等学校、本荘高等学校、由利工業高等学校、秋田県立大学本荘キャンパス・秋田キャンパス、秋田公立美術大学の生徒・学生計543人である。その内訳を表1に示す。

表1 アンケート対象者の概要

単位 [人]

| | | 高校生 | 大学生 | 美大生 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 人数 | 男性 | 258 | 137 | 4 | 399 |
| | 女性 | 52 | 46 | 45 | 143 |
| | 未記入 | — | 1 | — | 1 |
| | 合計 | 310 | 184 | 49 | 543 |

¹ 美の国あきたネットより(<https://www.pref.akita.lg.jp/>)

² 熊本県の公式ゆるキャラ

³ 秋田県の公式ゆるキャラ (2007～2017)

⁴ 愛媛県今治市の公式ゆるキャラ

⁵ 千葉県船橋市の非公式ゆるキャラ

⁶ 北海道夕張市の公式ゆるキャラ

4 分析結果

アンケート結果からポジショニングマップとスネークプロットを作成し分析する。

4.1 ポジショニングマップ

まず、各因子の固有値から因子数を決める。その結果、因子数1と判定された。しかし、便宜上本研究では2因子でポジショニングマップを作成する。

全体の因子負荷量を表2に示す。この結果、因子2として「モチーフがわかりやすい」だけが独立していることが分かる。

表2 因子負荷量

| | FAC.1 | FAC.2 |
|------------------------|-------|-------|
| X1. 会ってみたいと思う | 0.64 | 0.39 |
| X3. 顔が好き。目の位置。口の大きさなど。 | 0.85 | 0.35 |
| X4. 全体のフォルムが良い | 0.80 | 0.42 |
| X5. 色合いが良い | 0.70 | 0.53 |
| X6. モチーフがわかりやすい | 0.33 | 0.73 |
| X7. 動きに好感が持てる | 0.59 | 0.57 |

続いてポジショニング分析として、男女別、所属校別のポジショニングマップを図1、2に示す。

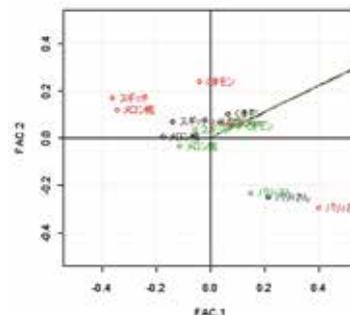


図1 ポジショニングマップ 男女別

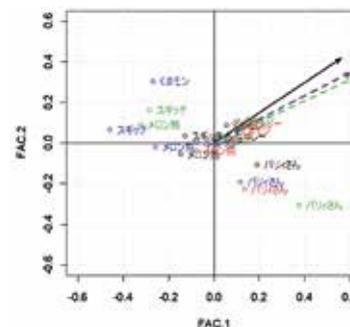


図2 ポジショニングマップ 所属校別

図1を見ると、男女別では理想ベクトルにほぼ差がない。女性はふなっしーがより理想ベクトルに近く、男性はくまモンがより理想ベクトルに近い。したがって上記のキャラクターが男性・女性にとって人気の高いゆるキャラであることが分かる。

図2より、所属校別で見ると、理想ベクトルは高校生と美大生が類似しているものの、大学生が異なる傾向を示した。これはバリィさんへの評価が影響を与えたことによるものと考えられる。

また、高校生と大学生は評価が理想ベクトル付近に集中するゆるキャラが類似しており、美大生はくまモンが理想ベクトルから大きく

離れていくことから、美大生にとってくまモンはモチーフの分かりやすさ以外の項目での評価が低いことが分かる。

この分析の補足として、各項目と総合評価との相関ならびに各項目の平均評価を調べるため、CSポートフォリオ分析を行った。結果を図3に示す。

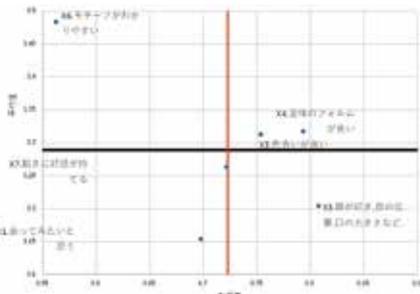


図3 CSポートフォリオ

相関の平均値を図3の横軸の赤点線で表すと、平均値より高い相関を示しているのは「顔が好き」と「全体のフォルム」と「色合い」であると読み取れる。各評価項目の平均値を比較してみると「色合い」の度合いが低いことから、この項目は評価が厳しい傾向があると言える。

4.2 スネークプロット

各ゆるキャラの評価項目と説明変数の平均値をグラフ化したスネークプロットを図4に示す。

図4のグラフから「モチーフ」はデータの散らばりが大きく評価に大きく影響している。特に評価を下げているのは、バリィさんであった。また、ポジショニング分析で評価が高かったくまモン、ふなっしーとともに平均点が高く3.44点、3.41点であった。

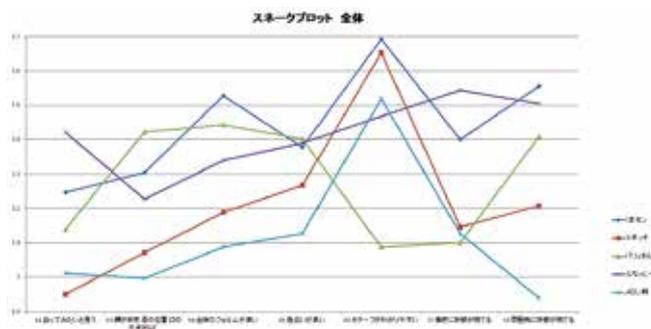


図4 スネークプロット全体

5 まとめ

CSポートフォリオ分析の結果、影響度が高い項目は、「顔が好き」、「全体のフォルム」、「色合い」であり、女性、美大生、大学生においてこの特徴が顕著に表れていることが読み取れる。バリィさんがこの条件に当てはまる。工業高校、男性に於いて同項目ではくまモンへの評価が高い。

また、各評価項目の平均値を比較してみると「顔が好き」の度合いが低いことから、この項目は評価が厳しい傾向があるといえる。従ってスネークプロットで「顔が好き」の項目の平均値が高いバリィさんが一つの指標となると考えられる。

6 今後の課題

本研究では、アンケートにかかる時間を考慮し、ゆるキャラのサンプル数を5種類に絞ったため、幅広いゆるキャラを調査するに至らなかった。因子数が1となった原因も、選出したゆるキャラに類似した特徴が見受けられたためである。そのため、ゆるキャラの種類を整理

分類し、より多種類のゆるキャラでの比較が必要と考えられる。

また、知名度の高いものに人気集中したり、資料が白黒であり色合いがわかりにくかったりしたことから、やや回答し辛いアンケートであった。

費用の面で負担にはなるが、カラーコピーでのアンケートを試みることで、違う結果が望める可能性がある。

ここまでの研究結果をまとめ、由利本荘市内で開催された研究室の研究公開ならびに日本経営工学会北海道・東北支部にて本研究を発表した(佐藤ほか[6])。

研究発表に於いては、なぜ若者に焦点を絞ったのかといった疑問が寄せられた。少子高齢化の進む秋田県に於いて若者だけに限らず、ご年配の方にも親しんで貰えるようなキャラクターの分析も行う必要があると考えられる。



図5 日本経営工学会北海道・東北支部での発表の様子

また、得られた結果より、秋田県立大学のキャラクター案を作成した。得られた結果より、黄色と白や丸いフォルムで行った特徴をキャラクターに反映させた。



図6 秋田県立大学のゆるキャラ案(ばっけんくん)

【謝辞】

報告書を作成するにあたり、ご協力をしてくださった高校、大学の教員・教授・生徒の皆様、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。大変お忙しい中、アンケートにご協力いただき、本当に有り難うございました。

【参考文献】

- [1] 神田 範明：神田教授の商品企画セミナー、日科技連出版、2013。
- [2] 「全国ご当地キャラ大図鑑」製作委員会：全国ご当地ゆるキャラ大図鑑、宝島社、2013。
- [3] 「全国ご当地キャラ大図鑑」製作委員会：全国ご当地ゆるキャラ大図鑑2、宝島社、2014。
- [4] 熊本県庁チームくまモン：くまモンの秘密 地方公務員集団が起したサブライズ、幻冬舎新書、2013。
- [5] 森下晶美、島川崇、徳江順一郎、宮崎裕二：新版観光マーケティング入門、同友館、2016。
- [6] 佐藤千夏、伊藤海玖、鈴木奏恵、中川亜希美、嶋崎真仁：由利本荘周辺地域の学生・生徒が好むゆるキャラの条件、日本経営工学会東北・北海道支部平成29年度研究発表会抄録集、pp. 11 - 14、2018。